

## うる覚えマンガに対する質問分析の試み

著者	渡辺 葵, 高久 雅生
著者別名	WATANABE Aoi, TAKAKU Masao
雑誌名	情報知識学会誌
巻	25
号	2
ページ	172-179
発行年	2015
権利	情報知識学会
その他のタイトル	Question Analyses for the Vague Recollection of Manga
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2241/00124662">http://hdl.handle.net/2241/00124662</a>

## うろ覚えマンガに対する質問分析の試み

# Question Analyses for the Vague Recollection of Manga

渡辺葵<sup>1\*</sup>, 高久雅生<sup>2</sup>

Aoi WATANABE<sup>1\*</sup>, Masao TAKAKU<sup>2</sup>

1 筑波大学 情報学群 知識情報・図書館学類

University of Tsukuba

〒305-0005 茨城県つくば市春日1-2

E-mail: s1211555@u.tsukuba.ac.jp

2 筑波大学 図書館情報メディア系

University of Tsukuba

〒305-0005 茨城県つくば市春日1-2

\*連絡先著者 Corresponding Author

現在, うろ覚えのマンガを探す手段には, 図書館でのレファレンス質問や質問応答サイト(2ch, Yahoo!知恵袋等)を使う方法がある. そこで, 本研究では, それらの質問応答サイトにおける, うろ覚えマンガの質問を調査した. 分析には2ちゃんねるおよびYahoo!知恵袋から計300件の質問を抽出し, 使用した. 分析にあたっては11カテゴリを定義し, 各質問にカテゴリ付与を行った. さらに, その質問に対して解答を提供するための情報源となる10の書籍, Webサイトについて11カテゴリに対応する情報源の有無を判断した. 調査の結果, 検索支援の需要が高いカテゴリとして, マンガのジャンルと登場人物の行動, 特徴についての記述の3つが導き出された.

There are methods of searching the vague recollection of manga that utilize reference question in library and Q&A websites. This study extracted and analyzed 300 questions in two Q&A websites. We defined 11 categories, and assigned one or more categories for each question. In addition, we collected 10 books and websites to provide an answer for the questions and assessed whether these resources provided information for each categories or not. In conclusion, we found that 3 categories, “genre of manga, action of character, feature of character”, are the most needed ones for the vague recollection of manga.

キーワード: マンガ, 質問分析, うろ覚え

manga, question analysis, vague recollection

## 1 はじめに

現在、マンガ資料は日本の書籍新刊発行部数の8.7%[1]を占めており、売上シェア別にすると21.2%[2]を占める重要な資料となっている。

マンガ資料の検索に関しては、出版社、国立国会図書館、マンガ専門データベース[3]等の情報源が存在している。そのため、正確なタイトルや著作者についての情報を持っていれば、目的のマンガを検索することが可能である。

一方で、上記のデータベース上で検索するのが困難なうろ覚えの情報を持った利用者の検索ニーズも存在している。なお、本研究では、うろ覚えとは「昔知った・読んだことがあるが確かな情報でない、または覚えていることが少なく検索が困難な状態」を指すものとする。例えば、福井県立図書館では、覚え違いタイトル集という、質問者がタイトルを覚え違えていた、覚えていない図書についてのレファレンス事例をまとめている[4]。他にうろ覚えのマンガを探す手段には、図書館のレファレンスサービスや2ちゃんねる、Yahoo!知恵袋等を使って質問するという方法がある。

しかし、利用者が持つ曖昧な情報から検索しようとしても、探索が困難であることが多い。そこで、本研究ではうろ覚えのマンガを検索するための質問を収集・分析し、どのような探索支援を行うことが望ましいか考察していく。

## 2 関連研究

関連研究として、うろ覚えの基礎研究には小池[5]、金井[6]の論文がある。小池はうろ覚えの図書について調査分析を行い、質問を

16のカテゴリに分類した結果を示している。金井は音楽資料に関するレファレンス記録の内容分析を行い、利用者ニーズについて述べている。どちらも図書全体や音楽資料を対象としており、マンガを対象とした基礎研究は発見できなかった。

また、うろ覚えの検索については荒井ら[7]、井倉ら[8]、高橋ら[9]の論文がある。荒井らはSNS上で収集した疑問を提供し、解答を求めるWebサイトの構築を、井倉らはWebページの検索、高橋らはテレビの番組検索についての研究を行っている。

## 3 質問分析

### 3.1 調査対象

2つのサイトから質問を収集した。うろ覚えのマンガに対する質問が多く含まれているものとして「2ちゃんねる」を、大規模Q&Aサイトとして「Yahoo!知恵袋」を調査対象とした。

匿名掲示板「2ちゃんねる」において、マンガ一般について取り扱う漫画板内の、うろ覚えで思い出せないマンガ作品を探すことを目的としている「漫画の題名・作者名がわからない★質問スレ」[10][11]がある。このスレッドで、テンプレートが使用され始めた2004年3月16日に作成された9番目のスレッドから54番目の中に、質問が11253件あった(2015年2月4日時点)。ランダム抽出により、質問200件を抽出した。なお、テンプレートに沿って記述されていない質問は省いている。

加えて、Yahoo! JAPANの運営するナレッジコミュニティサイト「Yahoo! 知恵袋」において、「漫画 うろ覚え」で検索した結果、3595件の質問の中から関連度順で表

示された上位1000件(2015年02月21日時点)から無作為抽出した100件の質問を対象として分析する。

抽出にはExcelのランダム関数を使用した。

2ちゃんねるの場合、ログの存在しているスレッドから抽出した質問群に番号を振り、Excel上でランダム関数を用いて乱数を付与し、昇順で上位200件を抽出した。

Yahoo! 知恵袋の場合、1000のセルに乱数を付与し、昇順で上位100件を抽出した。

実際の質問例は図1, 図2のようになっている。

393 :名無しんぼ@お腹いっぱい:  
2010/07/31(土) 13:03:55 ID:svLOQRS/0  
【タイトル】 不明  
【作者名】 不明  
【掲載年または読んだ時期】  
読んだのは10年近く前だが、実家にあった記憶があるのでもっと古いと思う  
【掲載誌・単行本またはジャンル】  
単行本(表紙は紛失)  
【絵柄】 劇画調  
【その他覚えている事】  
  
久々に地球に帰ってきて宇宙船から出ると地球は荒廃していた  
放射能の影響らしいが動物が異常な進化をしている。  
双頭のジャガーが印象的だった。  
蜘蛛人間のようなものもいた気がする  
  
人間は類人猿っぽくなっている  
  
その巻のラストは飛行機が飛んでいて主人公たちが文明があることに安堵する。  
  
もしかしたら色々混ざっているかもしれませんがよろしくお願いします。

図 1. 2ちゃんねるの質問例([11]より)

マンガの名前が分かりません  
かなり情報が少なくうろ覚えですが、マンガを探しています。

- ・12~15年前のもの
- ・男性マンガ雑誌に掲載(ジャンプとかコロコロコミックのような少年雑誌ではなかったような・・・)

内容

- ・主人公は女子高生。もしかしたら中学生かも
- ・ある日何かのきっかけで皮膚の一部が魚の鱗になってしまう
- ・最初に鱗に気がついたのは、確か入浴の時だった
- ・どんどん身体が鱗化されていく

こんな内容だったと思います。

マンガのタイトルに心当たりありましたら教えてください。

(投稿者名:yu\_p99さん)

(投稿日時:2012/7/12 11:16:28)

図 2. Yahoo!知恵袋の質問例([12]より)

### 3.2 調査方法

抽出した質問を内容分析により表1に示す11カテゴリを付与した。

カテゴリの作成に関しては、2ちゃんねるの質問テンプレートや、関連研究[5]を参考に作成し、分析時に必要と思われるカテゴリを追加した。

なお、カテゴリ付与と内容分析は第一著者が行った。

表 1. マンガ質問の分類 11 カテゴリ

題名	漫画の題名, タイトルに関する情報. 具体例:「涙が入っていた気がします」
著作者	著作者に関する情報. 具体例:「たぶん石川賢」

掲載年	その漫画を読んだと思われる時期もしくは、何年代の雑誌・単行本だったかについての情報。 具体例:「90年代後半～00年代前半」
掲載誌	その漫画を読んだ雑誌名や、単行本で読んだ漫画であるか等の情報。 具体例:「WJの読み切り」 注:WJ=Weekly Jump”週刊少年ジャンプ”のこと
ジャンル	漫画の読者層や、世界観の分類情報。 具体例:「題材は現代でシリアスっぽかった?」「SF」「少女漫画」
連載形態	連載されていたものか、短編もしくは読み切りであったかの情報。 具体例:「おそらく短期打ち切り作」「少女漫画の付録として綴じられていた」
絵柄	画風や、似ている絵を描く人物の情報。 具体例:「丁寧か荒いかで言えば丁寧な方」「劇画調」「ゴルゴ13のような絵柄」
台詞	登場人物の台詞についての情報。 具体例: 「俺たちは～様と一緒に戦っている!一生の語り草に出来るぞ!!」と士気高揚するシーンがあって、そのシーンだけ強烈に覚えています。」
行動	登場キャラクターがどのような行動をしていたかの情報。 あらすじや漫画の一コマについての質問。 具体例:「とある高校生が登校中転んで、頭がガードレールにサクッと刺さるシーンがある」
名前	登場キャラクターの名前についての質問。 具体例:「男性の名前は「ましろ」だったと思います。」
特徴	登場キャラクターの容姿や特殊能力等の特徴についての情報。 具体例:「髪の毛が赤い。」

### 3.3 調査結果

調査結果は、図3のようになった。両質問サイト共に、分類した11カテゴリの質問抽出件数に対する割合を示している。

#### 3.3.1 2ちゃんねる

2ちゃんねるを対象とした調査の結果から、掲載年のカテゴリが特に多かったことがわかった。また、掲載誌、ジャンル、絵柄、行動も50%を超えていた。

2ちゃんねるの該当のスレッドでは、質問する際にテンプレートに則って

【タイトル】【作者名】【掲載年または読んだ時期】【掲載誌・単行本またはジャンル】【絵柄】【その他覚えている事】

という6つのカテゴリについて知っている情報を記述するように促す記述をスレッドの作成者が編集もしくは過去のスレッドから引き継ぐ風習があるため、掲載誌、掲載年、ジャンル、絵柄の4項目が50%を超えたと考えられる。

#### 3.3.2 Yahoo!知恵袋

Yahoo!知恵袋を対象とした調査の結果から、人物の行動の項目が75%で特に多かったことがわかった。また、ジャンル、特徴も50%を超えていた。

2ちゃんねるではテンプレートが存在していたのに対して、Yahoo!知恵袋は質問する各ユーザーが必要と判断したものが載せられる。このため、絵柄や掲載年、掲載誌の情報が50%を下回ったと考えられる。

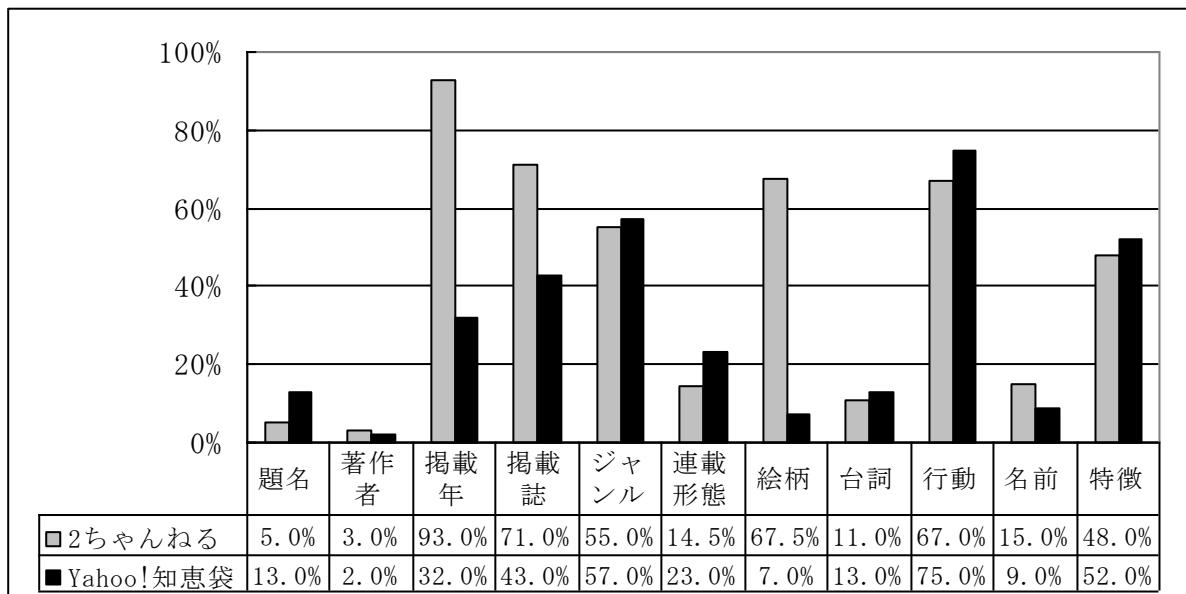


図 3. 質問分析の調査結果

## 4 マンガを対象とした情報源

### 4.1 調査対象

続いて、うろ覚えマンガの質問に対して解答を提供するための情報源となり得る情報媒体を収集、分析していく。

以下の10の書籍またはWebサイトを調査対象とし、表1の11カテゴリに対応する情報の有無を判断し、表2に示す。

○は十分な情報が存在すること、△は一部情報が存在すること、×は情報が存在しなかったことを示している。

- NDL-OPAC[13]
- メディア芸術データベース[4]
- 漫画家人名事典[14]
- 日本漫画家名鑑500[15]
- 漫画関連書籍検索[16]
- Wikipedia[17]
- 集英社のWebサイト[18]
- 小学館のWebサイト[19]
- ebook japan[20]
- JMPA[21]

これらの情報源は、カテゴリに対応する

情報が存在すると思われる代表的なデータベース、出版社、協会を中心に調査した。また、Wikipediaに関しては、マンガの知名度などで内容の記述量に偏りがある。

### 4.2 調査結果

前述した10の書籍、Webサイトの調査結果から、題名、著作者、掲載誌の情報は8件以上で掲載しており、多くの情報源で提供されていると言える。

また、掲載年、連載形態、ジャンルの情報は5件以上の情報源で掲載されていた。

5件未満となったのは絵柄、台詞、行動、名前、特徴で、特に台詞についての情報は今回の調査対象では存在しなかった。

## 5 考察

### 5.1 2ちゃんねるとYahoo!知恵袋における質問の比較

2ちゃんねる、Yahoo!知恵袋における質問では、題名、著作者、連載形態、台詞、名前といったカテゴリの質問はいずれも30%

表 2. 情報源の分類

	題名	著者	掲載年	掲載誌	ジャンル	連載形態	絵柄	台詞	行動	名前	特徴
NDL-OPAC	○	○	△ <sup>※1</sup>	△ <sup>※2</sup>	×	×	×	×	×	×	×
メディア芸術データベース	○	○	△ <sup>※1</sup>	○	△ <sup>※4</sup>	○	×	×	△ <sup>※4</sup>	×	×
漫画家人名事典	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
日本漫画家名鑑500	○	○	×	×	×	×	△ <sup>※7</sup>	×	×	×	×
漫画関連書籍検索	○	○	×	△ <sup>※2</sup>	△ <sup>※5</sup>	×	×	×	×	△ <sup>※9</sup>	△ <sup>※9</sup>
Wikipedia	○	○	○	○	○	○	○	×	△ <sup>※9</sup>	△ <sup>※9</sup>	△ <sup>※9</sup>
集英社のWebサイト	○	○	△ <sup>※1</sup>	○	△ <sup>※4</sup>	○	△ <sup>※8</sup>	×	△ <sup>※9</sup>	△ <sup>※9</sup>	△ <sup>※9</sup>
小学館のWebサイト	○	○	×	○	×	○	△ <sup>※8</sup>	×	△ <sup>※9</sup>	△ <sup>※9</sup>	△ <sup>※9</sup>
ebook japan	○	○	△ <sup>※1</sup>	○	○	○	△ <sup>※8</sup>	×	×	×	×
JMPA	×	×	×	△ <sup>※3</sup>	△ <sup>※6</sup>	×	×	×	×	×	×

※1 単行本出版日は掲載

※2 出版社の情報は掲載

※3 会社別雑誌一覧あり

※4 タグを付与

※5 内容検索あり

※6 雑誌の対象年齢別有り

※7 代表作のカットあり

※8 漫画の表紙あり

※9 あらすじ等に一部あり

を下回っており、うろ覚えの検索をする際にはさほど使われていないことがわかった。

大きな差が出たカテゴリとしては、掲載年、絵柄の2カテゴリで、いずれも50%以上の差が出ている。このような差が出た理由としては、2ちゃんねるではテンプレートに従って記述しているのに対して、Yahoo!知恵袋では質問者が各個人の判断で情報を記述しているためであると思われる。

反対に差が小さく、50%を超える質問で出現したカテゴリとしては、ジャンルと行動の2カテゴリが挙げられる。つまり、この2カテゴリについては検索支援の需要が大きいと言える。

## 5.2 質問分析と情報源

以上のことから、2ちゃんねる、Yahoo!知恵袋の両方で質問件数の少なかった題名、著作者、連載形態といった情報は、うろ覚えの検索に使われない。もしくは、これらの情報を知っていれば豊富に情報源が存在するため、検索が容易であるために質問が行われていないであろうことが分かった。台詞に関しては情報源が存在しないものの、質問数も多くないため、うろ覚えの検索での優先順位はさほど高くないと思われる。

2ちゃんねる、Yahoo!知恵袋の両方で差が小さく、50%を超えた項目であるジャンル、行動については、情報源自体も半数以下と

少ない。また、個人によって説明表現が変わってしまう事柄を含んでいるカテゴリでもあるためそれらの情報だけで求めるマンガを探し当てることは難しい。そのため、両サイトで50%を超える結果になったと考えられる。

2ちゃんねるでは50%をやや下回ったものの、登場キャラクターの特徴カテゴリについても差が小さく、掲載している情報源も半数より少なくなっている。こちらは容姿等の特徴については客観的な評価が可能なものの、性格や特殊能力については個人によって説明表現が変化するため、この情報だけで検索することは難しく、質問件数が約50%存在すると考えられる。

## 6 おわりに

本研究では、マンガのうろ覚え質問における内容分析、質問に対する解答を得るための情報源の分析を行った。

その結果、題名や著作者など、既に多くの情報源で提供されているカテゴリに関しては質問件数も少なく、反対に行動やジャンル、特徴のような、個人によって説明表現が変化する要素があり、かつ情報源の少ないカテゴリに関しては質問件数が多いことが分かった。

今後の課題としては、うろ覚えマンガに対する質問や検索に対してどのように支援を行うか、また情報源をどのように活用していくかといったことが挙げられる。

## 参考文献

[1] 全国出版協会出版科学研究所：出版指標年報，東京，全国出版協会出版科学

研究所，397p，2014.

[2] 日販営業推進室書店経営支援チーム：出版物販売額の実態 2014，東京，日本出版販売株式会社，38p，2014.

[3] メディア芸術データベース，文化庁，<http://mediaarts-db.jp/> (2015年4月2日参照)

[4] 覚え違いタイトル集，福井県立図書館，[http://www.library-archives.pref.fukui.jp/?page\\_id=368](http://www.library-archives.pref.fukui.jp/?page_id=368) (2015年4月17日参照)

[5] 小池由恵：「うろ覚え図書の特定に向けた基礎研究」，卒業論文，筑波大学，112p，2015.

[6] 金井喜一郎：「音楽資料に関する OPAC 検索機能要件」，日本図書館情報学会誌，Vol. 56，No. 4，pp. 190-208，2010.

[7] 荒井俊介，辻慶太：「Blog・Twitter に書かれた疑問を収集・提供する Web サイトの構築」．情報知識学会誌．Vol. 23，No. 1，pp. 1-19，2013.

[8] 井倉真一，近藤司，原田史子，島川博光：「うろ覚え Web ページ再発見のための閲覧履歴における被記憶ページ特徴群の発見」．情報科学技術フォーラム講演論文集．FIT(電子情報通信学会・情報処理学会)運営委員会．Vol. 11，No. 2，p. 81-82，2012.

[9] 高橋寛明，志田哲郎，小坂英明：「ジャンル情報を利用した連想的番組検索手法に関する一検討」．映像情報メディア学会技術報告．一般社団法人映像情報メディア学会．Vol. 35，No. 1，pp. 21-24，2011.

[10] 漫画の題名・作者名がわからない★質問スレ 54，2ちゃんねる，<http://hope.2ch.net/test/read.cgi/comic/1410274983/> (2015年2月4日参照)

[11] 漫画の題名・作者名がわからない★



質問スレ 39, 2ちゃんねる,  
<http://changi.2ch.net/test/read.cgi/comic/1276528053/> (2015年2月4日参照)

[12] Yahoo! 知恵袋, Yahoo!JAPAN,  
[http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question\\_detail/q1390565273](http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1390565273)  
(2015/02/21参照)

[13]NDL-OPAC, 国立国会図書館,  
<http://www.ndl.go.jp/> (2015年4月2日参照)

[14] まんが seek, 日外アソシエーツ編集部: 漫画家人名事典, 東京, 日外アソシエーツ, 482p, 2003.

[15] 「日本漫画家名鑑 500」編集委員会: 日本漫画家名鑑 500, 東京, アクア・プランニング, 1069p, 1992.

[16] 漫画関連書籍検索, 日本漫画学会,  
<http://ww1.yes.ne.jp/akitonet/shosek>

[ikensaku.htm](http://www.ikensaku.htm) (2015年4月2日参照)

[17] Wikipedia, ウィキメディア財団,  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A1%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8> (2015年4月2日参照)

[18] 集英社マンガネット, 集英社,  
<http://www.shueisha.co.jp/> (2015年4月2日参照)

[19] 小学館コミック, 小学館,  
<http://www.shogakukan.co.jp/> (2015年4月2日参照)

[20] eBookJapan, 株式会社イーブックイニシアティブジャパン,  
<http://www.ebookjapan.jp/ebj/index.asp>  
(2015年4月2日参照)

[21] 日本雑誌協会, 一般社団法人日本雑誌協会,  
<http://www.j-magazine.or.jp/>  
(2015年4月2日参照)